

## 会 議 録

|   |   |      |       |
|---|---|------|-------|
| 会議の名称   | 第2回高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会  |      |       |
| 開催日時  | 平成29年5月30日（火） 午前10時～11時35分  |      |       |
| 開催場所  | 笠間市役所本所 教育棟 2階<br>2-1・2-2会議室  | 事務局  | 高齢福祉課 |
| 会議の公開   | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開<br><非公開・一部公開とした場合の理由>   | 傍聴者数 | 0人    |
| 出席者   | 委員：大藏委員，塩畑委員，菊地委員，室井委員，土井委員（代理出席），村上委員，木村委員，廣瀬委員，竹江委員，平本委員，常井委員，鷹松委員，立川委員（欠席），清宮委員（欠席），武田委員（欠席）<br>事務局：堀内高齢福祉課長，長谷川包括支援センター長，飯村笠間支所福祉課長，飯田岩間支所福祉課長，櫻井課長補佐，久保田課長補佐，武井主査，金木主査，鈴木係長，宮本係長，千葉係長，コンサルタント業者：ワイズマン 山口 |      |       |
| 議 題   | 協議事項<br>（1）人口推計について<br>（2）アンケート調査の結果報告について<br>（3）笠間市高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告書から見えてきたこと<br>（4）事業計画の骨子案について   |      |       |
| 議 事 （審議経過及び発言内容）  |   |      |       |
| 開会<br>1. 委嘱状交付<br>2. 委員自己紹介<br>3. 市長あいさつ<br>4. 委員長及び副委員長の選出について<br>5. 委員長あいさつ<br>6. 事務局紹介<br>7. 協議事項<br>（1）人口推計について<br>・資料1 笠間市人口推計<br>事務局：資料説明<br>A委員：今後も高齢者が増えて、若い人が減っていくという問題はどの自治体でも問題になっている。高齢者、特に後期高齢者が増えていくことで介護保険にどのようなことが問題になっていくのかお聞きしたい。<br>事務局：高齢者が増えて、若い人が減る、これは介護を支える人口が減ること、介護を支える |   |      |       |

人が離職していく介護離職者の問題、認知症も増えていくという問題が起きることが想定されます。笠間市では要支援要介護認定者が 3,000 人います。特に後期高齢者の方が要介護認定を受ける割合が非常に高くなる。将来推計で 65 歳以上の高齢者が横ばい、一方で後期高齢者人口が増えていく要介護認定率もおのずと高くなっていくことで介護保険サービスの利用量も増えるということが懸念されます。

委員長：認定率については全国的な平均になりますが、後期高齢者は前期高齢者の 7～8 倍になります。

事務局：笠間市の状況ですが、75 歳以上人口の 28%が要介護認定を受けています。また、要介護認定者 3,000 人のうち、87%が 75 歳以上の後期高齢者となっています。

A 委員：財政への影響も大きいと考えられます。高齢者が増えると財政負担も増える。それを支える若い人は減っていくことについての対策をより一層わかりやすくできると良いがそれが難しい。そういったことを踏まえて、後期高齢者へのケアができたらと思います。

## (2) アンケート調査の結果報告について

### (3) 笠間市高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査から見てきたこと

・資料 2 笠間市高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告

・資料 3 笠間市高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告書から見てきたこと

事務局：資料説明

A 委員：資料 3 9 番目 P45「今後、認知症対策をすすめていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか」という設問で、複数選択できる設問になりますが「早期発見や診断ができる」といいと 7 割以上が回答あり、方向性で「認知症の初期対応に対する支援について検討する」となっています。検討といっても幅広く、5W1Hのような、いつどこでだれがどのようにやっていくのかなどどのところまで想定されているのか教えて頂きたい。

事務局：認知症に関する対応については、地域の方の協力を得ながら身近な相談ができる認知症相談員の配置をしています。また、認知症推進委員など相談対応する職員を配置しています。地域の医療機関と連携して認知症初期治療集中支援チームを昨年度から実施しています。通院に繋がらない困難なケースや初期対応にあたるため医療と介護が共同していく取り組みを進めています。まだ周知が進んでいないことや事例が少ないことから今後も対応していきたいと思えます。

A 委員：アンケートの中で 5 割を超えている回答は切実な考えで回答しているのかなと考えられます。併せてこういった方向性がでていっているので、市の取り組みとしていつまでにこういった取り組みをしていくのか明確化していくことが必要だと思う。5W1Hを考えながら検討して頂けると良いと思う。

B 委員：アンケートの対象者の抽出方法についてお伺いしたい。家族構成の中で「娘」、「息子」と回答があるがこういった家族構成で家族介護を受けている方がいるのかわかるようであれば教えて頂きたい。また、この会議は高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会となっているが、この資料 2、3 の表題が「高齢者福祉計画」の表記になっているが、

介護保険事業計画は別ということでしょうか。この会議の位置付を教えてください。

事務局：前回会議では4つの調査を実施するとご報告させて頂いたのですが、調査項目の整理をした関係で3つの調査になりました。介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は要介護認定を受けていない65歳高齢者と要支援1、2を対象に無作為に抽出しています。要介護認定調査については、認定を受けている方を無作為に抽出して調査をしております。在宅介護実態調査については在宅で介護サービスを受けている方で、認定の更新した方や更新予定の方を対象に窓口や郵送による調査を実施しました。家族介護の状況については、アンケート調査項目をクロス集計してどういった家族構成で家族介護を受けているのかデータをとって傾向を読み取りたいと思います。介護保険事業計画との関連性について、表題は「高齢者福祉計画」となっていますが、高齢者福祉計画と介護保険事業計画は一体となって策定するもので本会議でもご審議いただくこととなります。

C委員：資料2 P73(2)―②でどなたの介護を受けているのかで「介護サービスのヘルパー」という回答が多くいるので、介護従事者の支援も充実する必要があると考えます。

事務局：介護人材の不足が全国的に言われています。ここについては市が直接的に人材の支援といった手段があるのかなのか、また笠間市独自で職員の負担軽減をしていけるのか、検討して施策に反映できればと考えています。

A委員：アンケート調査を実施した結果、無回答者670件あるが、追跡調査するか。

事務局：追跡調査はしておりません。

A委員：というのは追跡調査の良い悪いではなく、なぜ回答しないのか、回答できないのか、疑問に感じて質問をしました。こういった方への対策をしていくことが必要かと思えます。

委員長：アンケート調査を実施すると回収率が100%にならないことやご指摘のように回答が無い人への対策が必要とも考えられます。回収状況ですが、資料2のP1の対象者の合計数が異なる。2,200人ではないか。

事務局：確認します。(2,200人へ修正)

D委員：計画策定するためのアンケートは要望を聞こうという姿勢が表れると、やりたいけど足りない部分を掘り探っていくがちで、そのニーズに行政が対応していくという流れになっている。市民の不満足感をあおるような聞き方をして常日頃答えすぎてしまうと行政依存型になり頼りすぎてしまう。中長期的に介護も医療、社会保障も抑えていかなければならない中で、将来的に介護や医療を使わなくても自立していく仕組みを作っていくことが必要だと考えられます。

事務局：必要なニーズを踏まえて、住民主体の活動などに重点をおいて今後の計画に反映していければと思います。

委員長：資料2 P68 地域別年齢で笠間地区はなぜ前期高齢者が少ないのか。

事務局：地域の年齢構成が異なることも考えられるが、再度傾向を読み取ってみたい。

E委員：笠間市の中で訪問診療などの状況を教えてください。

事務局：訪問診療をやっている医療機関を今資料はないのですが、訪問看護ステーションをやっている事業所は7事業所となっています。

F委員：資料2 P51、P84 交通手段のニーズが高くなっている。年齢が高くなり、事故など

の不安も多くなってきています。公共交通が充実すれば社会貢献や社会参加につながると思う。デマンドタクシーは少しずつ改善されてきているがあまり機能していない。ニーズに対応してデマンドという形を変えていってほしい。

事務局：公共交通機関の利用者は高齢者が多いと考えられます。そういった要望も踏まえ市全体の公共交通サービスとして考えていく必要があり、総合計画内でも位置づけでもさらに強くなっていくことになってくると考えます。

#### (4) 事業計画の骨子案について

- ・資料4 施策体系
- ・資料5 計画の構成(案)

事務局：資料説明

A委員：要望としてこの資料を活用して高齢者が住みよいまちになればよいと思います。

#### 8. その他 次回日程

事務局：次回は8月頃を予定、国の動向によって変更もある。追って連絡します。

閉会